



## 「努力の先に栄光」

校長 杉田 正穂

2月4日に立春を迎え、暦の上では春になりましたが、まだまだ寒い日が続いています。二十四節季では立春が一年の始めとされ決まり事や季節の節目はこの日が起点となります。梅が咲き始め、日に日に暖かさが増していく日でもあります。

都内のほとんどの私立高校の受験も終わり、都立の学力検査(一般入試)が21日にあります。入試の結果はすべての3年生にとって、うれしい結果となることを願っています。目標を達成させる日まで努力を重ね、全力を尽くし、チャレンジしていく強い気持ちで願いを叶えてくれることでしょうか。たとえ、願いが叶わぬとも努力の先には光があります。本校の教育目標に「努力 たくましくやりぬく」があります。学園中の3年生なら力強く前に進み、困難も乗り越えていく事でしょう。



さて、2月4日といえば、冬季北京オリンピック・パラリンピックの開会式がありました。東京2020オリンピック・パラリンピックから半年ですが、あの感動をもう一度味わえるぐらいにアスリートたちが活躍しています。スノーボード・ハーフパイプの選手、平野歩夢さんは見事な滑りをみせて金メダルに輝きました。平野さんは東京オリンピックでもスケートボードの日本代表に選ばれています。冬季オリンピックには3度目の出場と過去の成績は2度とも銀メダルでした。その悔しさをバネに毎日努力を重ねて技を磨いてきました。本番当日、2回目の演技はとても良かったにもかかわらず、得点が伸びませんでした。この得点には納得できなかったでしょうが、怒りを抑えて3回目にはそれを上回る演技をみせてくれました。96点の高得点で圧勝し、金メダルを獲得しています。アナウンサーが「人類史上最高のパフォーマンス」と言わせるぐらいに「トリプルコーク1440」が決まっていた。普通の努力では勝ち取れない技だと思います。平野選手は金メダルを目標とし、そのために努力をした結果だと思います。けがの多い競技ですから、自己管理をして健康面やけがなどに十分注意して練習したことでしょう。ひとつひとつのことを積み重ねることが大切であることを教えてくれました。

今、進路を決めていく3年生は、これからの長い人生でうまくいかないこともあるでしょう。将来の夢や目標をもって叶わないのではと思うこともあるでしょう。しかし、諦めずにやってみる事です。そのためには努力も惜しまない、ひとつひとつのことを積み重ねることです。

1、2年生の皆さんもこれからの進路でやってみたいことがあったら努力を惜しまずに挑戦してみてください。「努力は報われる」といわれます。努力した人にはいつか光が差すと信じています。

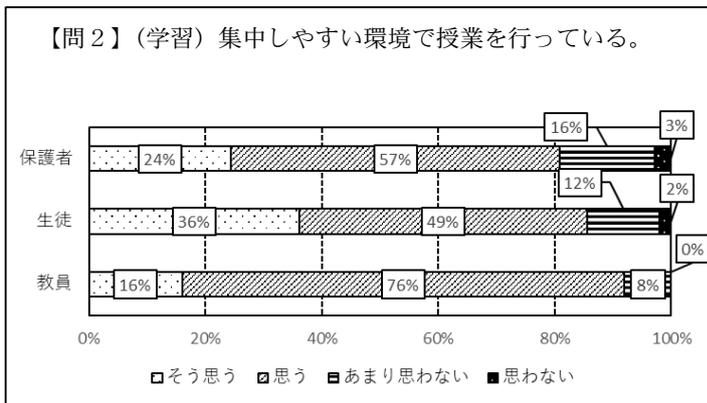
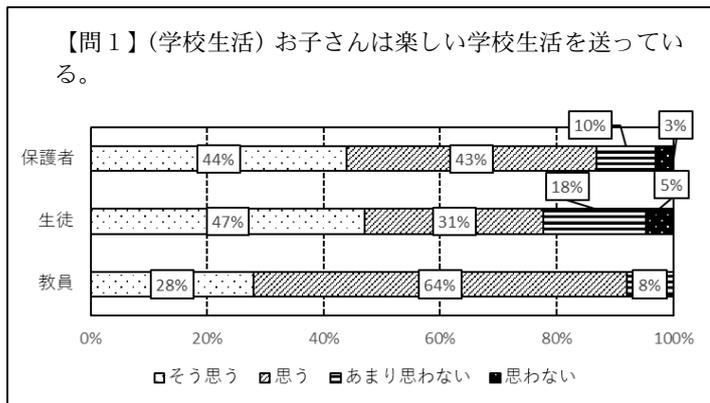
### HPでお知らせします

学園通信2月号は2学期期末学校評価アンケートの記事のみとなります。その他の記事を掲載することが出来ませんでしたので、今月は本校ホームページで学校生活の様子をお伝えしていきます。ぜひご覧ください。(本校ホームページ QRコード→)

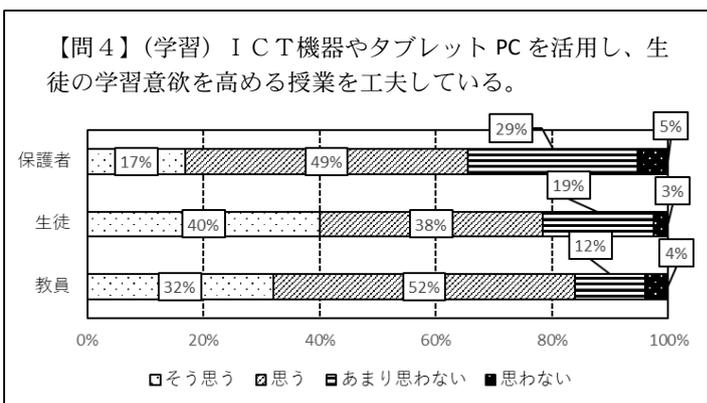
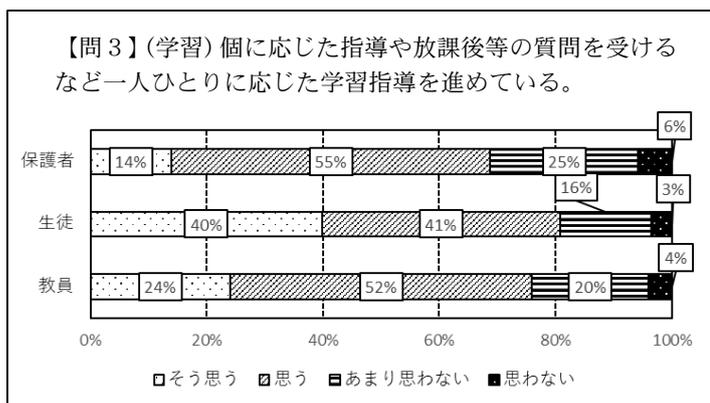


# 2学期末学校評価アンケートより

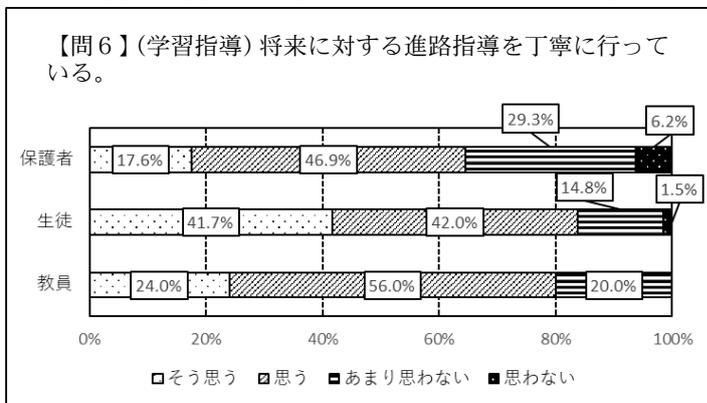
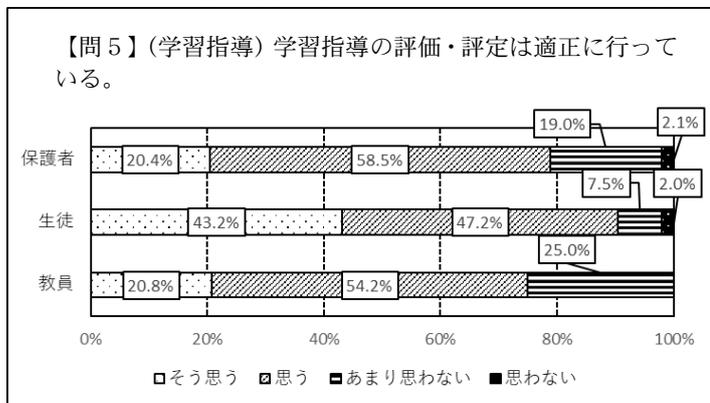
2学期末に保護者の皆様(289名:回収率55%)、生徒の皆さん(346名:回収率67%)、教員(25名:回収率100%)を対象に学校評価アンケートを行いました。集計結果と概要、考察についてお伝えいたします。



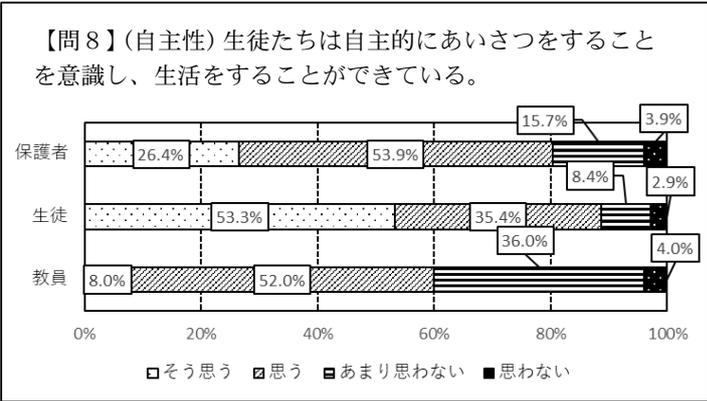
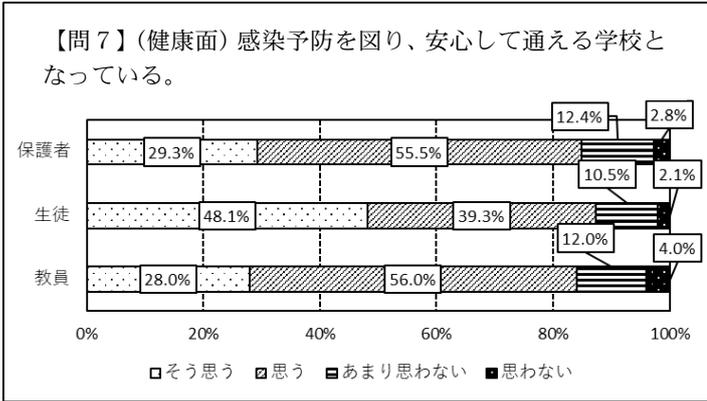
【問1】保護者は87%、教員は92%強、肯定的な回答でしたが、生徒は78%が肯定的な回答でした。特に教員と生徒との差が15ポイントありましたので、私たちは授業改善や学校生活の改善に努めていかななくてはならないと感じています。【問2】保護者、生徒、ともに80%以上が肯定的な回答でした。教員は92%が肯定的な回答でした。差が12ポイントほどあり、授業環境については整備が必要だと考えます。特に、「集中しやすい」ということはどのような状態であるのか、各教科の特性も考慮して、授業改善に努めていきます。



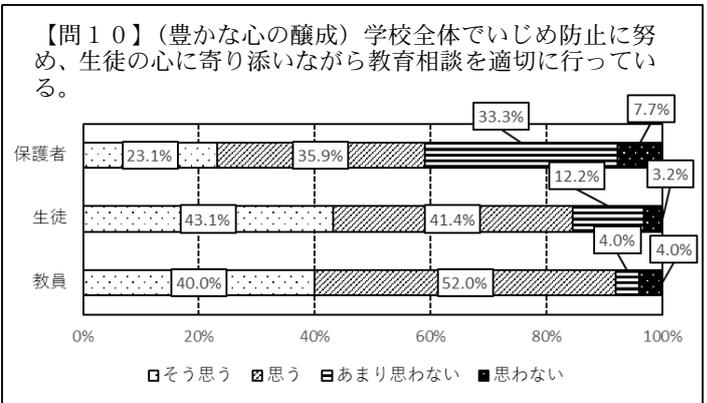
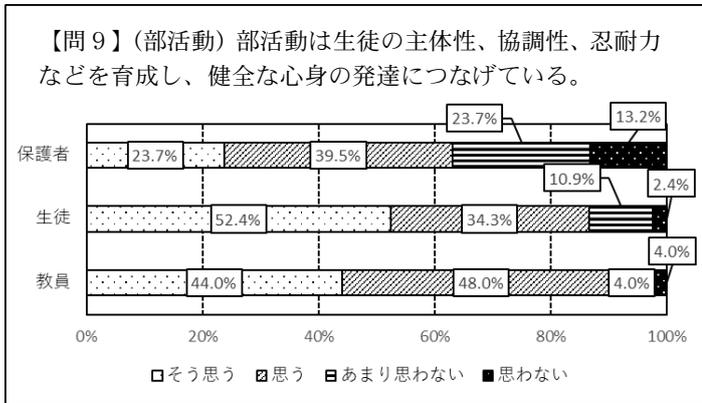
【問3】生徒、教員と保護者の間に11%の差があり、改善に努めなくてはならないと思われます。しかし、働き方改革のこともあり、放課後の質問教室は教員では対応できない現状もあります。地域連携事業の「未来塾」や「放課後補充教室」を活用して、個に応じた学習ができる場を設けていきたいと考えています。【問4】生徒、教員はほぼ80%が肯定的な回答をしています。保護者は66%が肯定的な回答をしています。タブレットPCに関しては、「eライブラリ」という学習支援サイトを学校予算で購入していますので、これを活用することや活用の様子をお伝えしていきたいと思えます。



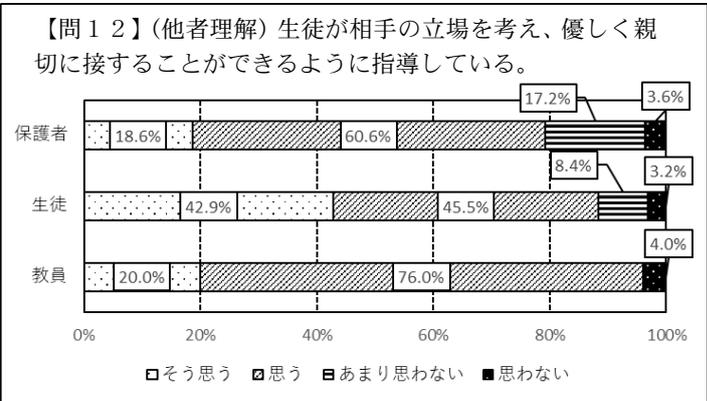
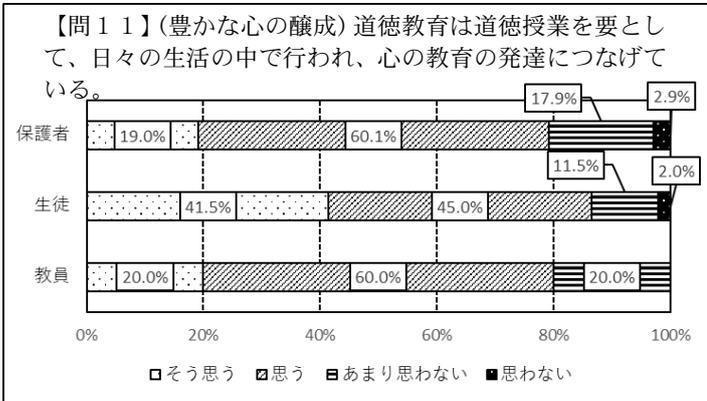
【問5】肯定的な回答については、教員の方が生徒、保護者より低くなっています。これは、妥当性のある評価について適切に行うための研鑽を深め続けていることが考えられます。今後も適切な評価に向けて努めていきます。【問6】保護者が生徒、保護者より20ポイント弱低くなっています。将来に対する進路指導というのは、「入試対策」だけでなく、「就労観」「仕事に対するイメージ」といったものも含まれていると考えます。そのため、様々な社会で働かれている保護者の皆さんの「仕事」に対する考えについて、私たちが真摯に学んでいかななくてはならないことだと考えています。



【問7】三者が90%強肯定的な回答をしています。生徒の皆さんの感染対策への意識と保護者の皆さんのご協力で予防対策が守られていると思います。今後もよろしくお願いいたします。【問8】生徒は約89%が肯定的な回答をしていますが、教員は60%が肯定的な回答でした。私たちの挨拶指導がもっと充実すれば、生徒の皆さんの素敵な挨拶がよくなることであろうと思います。今後も教員がお手本となって挨拶指導を行い、率先垂範を徹底していきます。

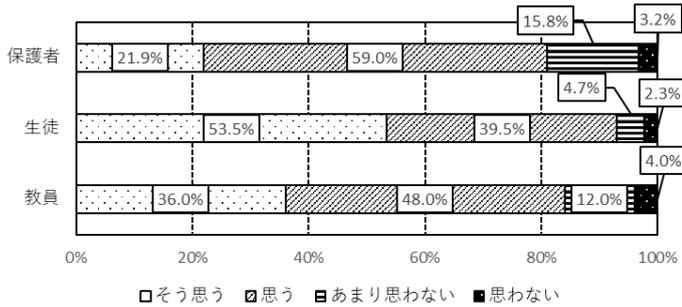


【問9】保護者は約80%、生徒は約86%、教員は92%が肯定的な回答をしていました。多くの肯定意見をいただいている一方、自由意見に「定期考査前にクラブ活動を実施する(もちろん親が許可を出す形にはなっていますが)のは、数少ない学習機会(無理矢理にでもしっかり勉強する期間)を台無しにしています。」というご意見もありました。部活動は働き方改革で取り上げられる事柄のうち最重要課題の1つとなっています。教師にとっても生徒にとっても負担のない活動としていこう、改善していきたいと思います。【問10】教員は92%が肯定的な回答をしていましたが、保護者は75%が肯定的な回答でした。自由意見には、「教育活動には個人差があり、求められている事がこなせない場合でも、(難しいかもしれませんが)本人にとってプラスになるような前向きな指導をしてもらえると有難いです。」という意見がありました。私たちはスクールカウンセラーによる生徒理解の研修を受けていますが、今後もその成果が現れるような教育活動が行えるよう、努めていきたいと思っています。

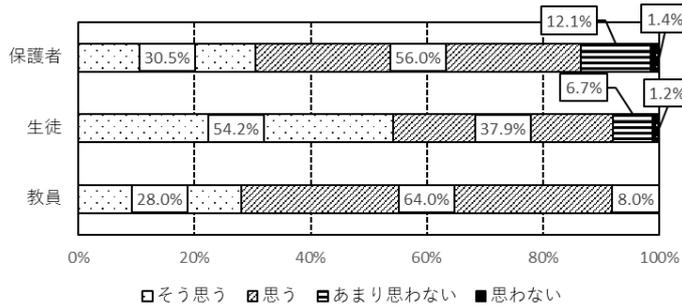


【問11】三者とも約80%が肯定的な回答をしています。今後も「特別の教科 道徳」の授業で道徳的価値を深め、学校生活全てにおいて道徳教育が充実していくように努めていきます。【問12】教員は96%が肯定的な回答をしており、生徒は約88%、保護者は約79%が肯定的な回答でした。私たちは普段生徒の皆さんが他人に対してきちんと理解しようとする行動をよく目にしています。しかし、私たちはそれを過剰に評価しているのかもしれませんが、それともまた違った理由があるのかもしれませんが、この差については今後生徒の皆さんの様子をよく見て、理由を考えていきたいと思っています。

【問13】(規範意識) ルールの尊重など、生徒の規範意識を高める指導をしている。

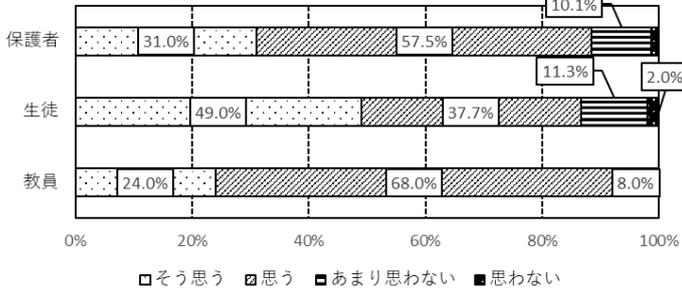


【問14】(委員会活動) 当番・係活動、生徒会・委員会活動が活発で生徒の主体的な活動につながっている。

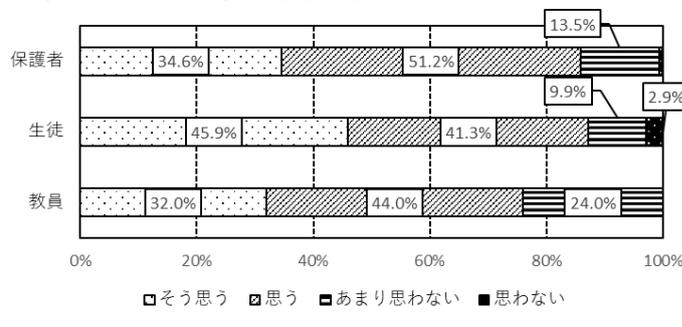


【問13】生徒は93%が肯定的な回答をしており、保護者、教員は約80%強が肯定的な回答をしていました。規範的意識については高い評価となり、実際に生徒の皆さんは「チャイム着席」や「服装」など、集団生活でのルールをよく守っていると思います。今後も指導を継続していきたいと思います。【問14】生徒、教員はともに約92%が肯定的な回答をしており、保護者も約86%が肯定的な回答でした。コロナ禍で生徒会活動はなかなか以前のような活動になっていませんが、先日行った「オンライン各種委員会」のように異年齢で生徒主体の活動が促進されるように指導を進めていきます。

【問15】(学校施設) 教室や廊下などの施設をきれいにしたり、大切に使用するように指導が行われ、学校施設がきちんと整備されている。

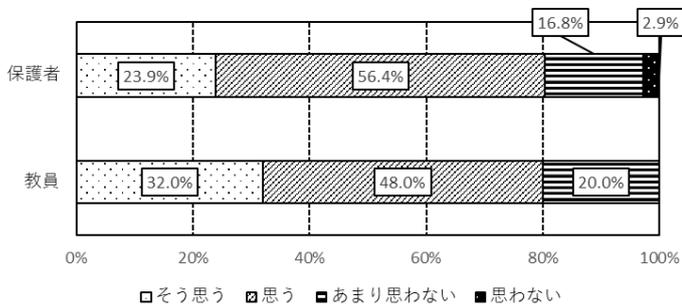


【問16】(開かれた学校) 学校の様子を学年・学級だよりやホームページで知らせることができている。

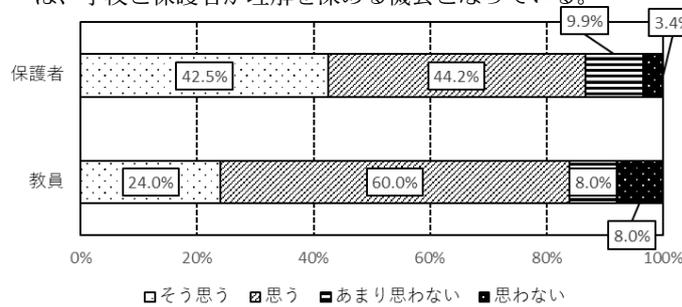


【問15】三者は共に約90%の肯定的な回答でした。本校は今年で開校60周年となり、施設はそれなりに修繕が必要な箇所があります。しかし普段、生徒の皆さんが丁寧に掃除をしてくれたり、大切に使用してくれたりしているので、大きな破損等は起きていません。今後も公共の場所をきれいに使うという気持ちを大切に、学校生活を過ごしてほしいと思います。【問16】保護者と生徒は90%弱が肯定的な回答をしています。教員は76%が肯定的な回答となりました。自由意見では、「年間予定表などはホームページにアップして欲しい」「ホームページの情報量が少ない」という意見がありました。年間予定表はホームページの下部に年度当初から記載してあるのですが、分かりづらかった可能性があります。申し訳ありません。今後はレイアウトの見直しを図って、改善していきたいと思います。

【問17】(開かれた学校) 保護者・地域の方々に親切で丁寧な対応がなされており学校と良好な連携を図っている。



【問18】(開かれた学校) 学校公開、保護者会、三者面談は、学校と保護者が理解を深める機会となっている。



問17と問18は保護者と教員だけの質問となります。【問17】保護者、教員、ともに80%が肯定的な回答でした。大変嬉しく思う一方で、20%が否定的な回答でしたので来校者対応、電話対応など接遇面での改善を図ってまいります。【問18】保護者、教員、ともに約85%が肯定的な回答でした。コロナ禍のため学校公開の回数が激減するなど、教育活動を見ていただく場が少なく、申し訳ありませんでした。しかし、保護者会や三者面談にご参加いただけたことは感謝しております。ありがとうございました。自由意見では「公開授業や保護者会などもオンラインで参加できると、働いている親も参加しやすいと思います。」という意見がありました。現状では個人情報やインターネット回線の制限があり、いくつかの課題があります。練馬区と連携して、改善できるようにしていきたいです。